

【不祥事根絶に向けた本校の決意】(行動基準)

体罰, セクハラ, パワハラをしません, 許しません

不祥事根絶のための行動計画

福山市立中央中学校  
作成責任者 校長 広中 邦充

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	○サービス研修において, 自分自身の課題として捉えさせることが必要である。	○サービス研修の方法や内容等を見直し, より体験的な研修を実施して研修効果が実感できるようにする。 ○規範意識に関わる目標設定をする	○全ての教職員を対象にサービス研修に係るアンケート調査を行い, 方法や内容等を改善する。 ○「自己申告書」では, 規範意識に関わる内容を具体的に目標設定する。	○サービス研修についてのアンケート調査を行い, 今後の取組に生かす。 ○管理職が定期的に面談し, 指導助言を行う。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	○時間に追われ, 多忙からくる不祥事の危険性がある。	○主任・主事を中心とした機動力ある組織を目指す。 ○業務改善を行い, 組織で協働して職務を遂行できるようにする。 ○未然防止の意識を高める。	○学年会や各分掌会等で互いの仕事の進捗状況を確認し, 特定の者に負担がかからないよう集団でサポートする体制をつくる。 ○「凡事徹底」を追求し, 意識の高い, 美しい教育環境づくりに努める。	○運営委員会, 不祥事防止委員会で, 情報交換を行い, 状況を把握する。
相談体制の充実	○「体罰, セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知を繰り返しているが, 相談の実績がない。	○「体罰, セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知を繰り返し行い, 相談しやすい体制をつくる。	○学校だよりで保護者等に周知するとともに, 校舎内全ての教室にポスターを掲示し, 担当の教職員を明示する。 ○個人面談, 三者懇談会を通して, 体罰, セクハラについて聴取する	○学期末に生徒, 保護者及び本校教職員を対象にアンケートを実施する。 ○学年会, 分掌会, 不祥事防止委員会で, 聴取した内容を交流する。